

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

燃料ポンプにおいて、当該ポンプ内部の製造工程が不適切なため、内部部品のメッキコーティングが剥がれ、内部に異物として残留するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料ポンプ内のインペラに異物が噛み込み、燃料ポンプが停止し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し再始動ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料ポンプの品番、製造日を確認し、該当するものは燃料ポンプを良品に交換する。

識別：車両識別プレートの下側に、赤色で直径5mm程度のマークを塗布する。

また、点検整備記録簿の該当欄に「日付、走行距離、ワークショップスタンプと担当者名、リコール：外-2246の改修」と記入する。